

廿^トの指導船を新造

水俣の漁業転換策に

水談 工任 甯甯 県長 永部 森産

全国商工部長会議に出席し、災害復旧や水俣病問題などで各省に陳情して十二日帰任した森永熊本県商工水産部長は、水俣、葦北漁民の漁業転換策の一つとして県指導船「球磨丸」―七・五ト、二十五馬力―の代わりに新たに二十ト、百二十馬力のものをつくることなどを明らかにしてつぎのように語った。

○…現在の指導船「球磨丸」は昭和二十三年につくられたもので、すでに老朽化している。水俣病の沿岸漁民の漁業転換や他の漁区での操業などを積極的に指導するた

め「球磨丸」を廃船とし、新たに二十ト、百二十馬力のものをつくる。今年度の国庫補助金を東海地区が返上したら、熊本県に回すよう水産庁に陳情した。

また企画庁の水質保全調査費六百七十万円がまだ一部残っているのので、本年度中に本県に配分してくれるよう陳情した。だがこれを獲得するには、今後政治的な働きかけを要するようだ。

○…国民金融公庫では十四号台風の災害復旧分として、熊本支所に六百万円、八代支所に二千万円割当てることになった。八代が多い

のは同支所が天草を含むからである。また同公庫では年末資金として一億二千万円を熊本県に割当てる。

○…政府は通常国会に臨海工業地帯開発公団法を提出するが、八代臨海工業地帯もなかに含まれている。

通産省は来年度から各県に工業立地相談所をつくる。これは企業家に工場新設の資料を提供しようというものだが、県庁につくるか、商工会議所につくるかは未定である。